

# あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、  
「住民こそ主人公」の  
あきる野市政実現をめざして!

2008.9.14 No.494(毎月2回発行)

あきる野市員会は次の見解を発表しました。

## 首都東京に 基地は「いらぬ」



**横田基地が  
日米の戦争  
司令出撃基地へ**  
次に横田基地は、府  
中からの航空自衛隊総  
司令部が横田に移転し  
「日米航空司令部」と

小泉氏は、日米両政  
府は「米軍再編をすす  
めているが全国どこ  
でも「基地強化反対」が  
民意であり、沖縄でも  
岩国でも横須賀でも座  
間でも、思惑通りに進  
んでおらず、住民のた  
たかいが日米両政府を  
追いつめていると強調  
しました。

## 「横田基地の撤去を 求める西多摩の会」が誕生!

### 西多摩全域から130人が参加して 結成総会

「基地はいらぬ」――  
西多摩に広がる平和を  
望む声の一つに結集す  
る「横田基地の撤去を  
求める西多摩の会」が  
誕生しました。  
8月31日、羽村コミ  
ニティーセンターで  
開かれた結成総会には  
西多摩全域から130  
人が参加。  
よびかけ人のあいさ  
つに続き経過報告、規  
約などを活発に討議、  
役員として世話人15人  
(代表世話人は福生の  
松山清氏)を選出し、  
した。立川・昭島の「横  
田基地を考える会」代  
表の近森さん(東京平  
和委員会)や日本共産  
党西多摩青梅地区委員  
長(衆院選東京25区予  
定候補)の鈴木おさむ  
氏らが連帯のあいさつ  
をしました。

**小泉親司氏が  
記念講演**  
第2部は、同会の結  
成を記念して、日本共  
産党中央委員会基地対  
策責任者の小泉親司氏  
が「米軍再編のなかで  
変貌する横田基地」と  
題して講演しました。

**進んでいない  
「米軍再編」**  
小泉氏は、日米両政  
府は「米軍再編をすす  
めているが全国どこ  
でも「基地強化反対」が  
民意であり、沖縄でも  
岩国でも横須賀でも座  
間でも、思惑通りに進  
んでおらず、住民のた  
たかいが日米両政府を  
追いつめていると強調  
しました。

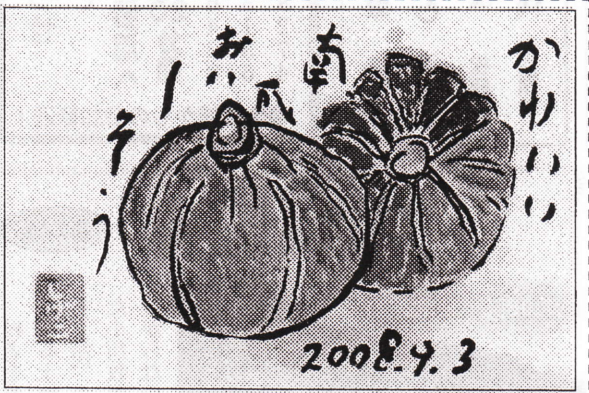


**たばた あずみ**  
「にゆうどうぐもって」むすこに聞かれた  
のは数年前の夏の日。「ほらそこに」と遠く  
を見れば、積乱雲……まあ入道雲っぽい程度  
の雲。なにがちがう。わたしの思う入道雲は、  
山の向こうから真つ青な空にもくもくと重た  
く立ち上がり、一気に空を覆って雷と夕立を  
降らせ、さっと引いて虹を残していくもの。  
このごろの夕立はくずくず降り(鳴り)続け、  
まるでちがうものよう。虹も出ないし。今  
年も入道雲を見たという気がしないまま、秋  
の気配。

この子たちはわたしとは違う夏  
の印象を記憶に刻むのだと思うと、  
少々さみしくもあります。それが  
温暖化の影響なら、さみしがって  
いる場合ではないですけど。  
(08.9.14)  
連絡先は☎550-6674

**全国と連帯して  
横田の闘いを**  
こうして小泉講演は、  
全国のたたかいに連帯  
する首都・横田のたた  
かひの重要性を明ら  
かにし、会の発足を激  
励するものとなりま  
した。  
この会の結成がい  
かに待たれていたか  
が示されました。

**会場入会者が  
すでに98人に  
最後に、すでに入会**  
申し込みが98人あつ  
たことが報告され場  
内から拍手が湧きま  
した。



絵手紙/神崎茂子さん・瀬戸岡在住

### 野良望

今年の夏、娘と霧が峰高原、  
八島湿原など散策してきま  
した。ニッコウキスゲはもう  
咲き終わっていましたが、高  
原にはたくさん種類の花  
が咲いていてとてもきれい  
でした。宿泊したペンション  
のご主人から「最近鹿がニ  
ッコウキスゲの花をみんな  
食べてしまう」と話を聞か  
されました。2年前に尾瀬ヶ  
原湿原に行ったときにも、地  
元の方から「水芭蕉の花がお  
化けのように大きくなりす  
ぎてしまった。温暖化のせい  
だろうか」と話を聞いたこ  
とがあります。

開発や、二酸化炭素ガスの  
排出などの影響で地球温暖  
化が進み自然環境にも様々  
なところに影響が出ています。  
今年の夏は、猛暑と突然の豪  
雨や落雷などで各地に被害  
が出ました。地球も怒ってい  
るとい感じます。今こそ、  
人類が地球環境をどう守っ  
ていくか真剣に考えるとき  
ではないでしょうか。(山根)



# 後期高齢者医療制度廃止 秋川流域連絡会 結成総会開く

「ダメサレナイデ」「アキラメナイデ」  
 廃止まで頑張ろう！  
 後藤氏は、政府の「いい制度だ、いい制度だ」という巧妙な宣伝に

準備を進めて来た「後期高齢者医療制度廃止・秋川流域連絡会」が8月30日、40名近い市民が中央公民館の集會室で総会を開き、遂に結成されました。  
 結成総会に先立ち、東京社会保険推進協議会の後藤嘉輝事務局長を招きこの制度について改めて学習しました。

準備の努力が実り  
 遂に結成に！



▲講演する後藤嘉輝東京社保協事務局局長  
 ▲熱心に論議する会場のみなさん

●個人会費● 1口100円  
 ◎連絡先:あきる野市雨間533-1-102  
 増田 TEL&FAX 042-550-6403

「あきる野民報読者のみなさん！  
 「連絡会」に積極的に入っていただくこともこの悪法が廃止されるまでたたかおうではありませんか！

10月末までに  
 5千人分の署名を  
 総会では、10月末までに署名を5千筆集めるという目標を会則、当面の行動などを決めました。  
 その他、「馬2頭を先頭にしてデモ行進をやたららどうか?」などと言う異色の提案もあり、意気高い総会となりました。

「ダメサレナイ」で、そして、「アキラメナイ」で廃止までたたかおうと強調されました。

## 政治の中身を変える！ 9月27日 午後2時～

# 日本共産党演説会

いよいよ  
 総選挙まじか、  
 そして市議選も…  
 ■あいさつ  
 市議会議員 影山 保  
 ■弁士  
 3名の市議予定候補者  
 たばたあずみ  
 山根 とみえ  
 戸沢ひろゆき  
 衆議院議員・比例代表候補  
 鈴木おさむ  
 笠井あきら  
 どうぞ、  
 みなさんこそって  
 ご参加ください！

## 後援会 便り

東地区後援会のお知らせ  
 バスで  
 甲州・勝沼へ  
**ぶどう狩り**  
 9月24日(水)市役所8時20分発  
 詳細は川片野坂  
 清水 559-6468  
 559-5136  
 一戸 558-8274

ソフト金熨天下の心意気 西川昇  
 事務所費でおしゃべり大臣口濁心 西川昇  
 自民閣得意な枝は投げ出しよ 松頼坊  
 党員が毎月増える新時代 松頼坊

## 地名考・牛沼①

牛沼村は、一五七四(天正二)の佐久間文書に雨間村・代継村・牛沼村と紹介されていますので、村落は古くからありました。南北に滝山街道が貫き、北から南へ段丘的に下って秋川を挟み、再び上って八王子を境としています。面積の多くを秋川河岸と秋川南面の丘陵地に占められているため、戸数は面積に比較して少なく、油平の二倍の面積を持ちながら、ほぼ同戸数です。  
 全国に牛の付く地名は多いと云われています。一八八五年(明一八)の「地名索引」では、牛込・牛久保・牛沢…など八ヶ所とされています。但し、牛沼に限るとあきる野と人間の二ヶ所です。  
 村名を直感で見ると、牛が飼育されて近くに沼地がある土地となるのですが、牛の語意が違ふようです。古代、小川を中心に広い地域に牛馬を飼育していた小川牧がありました。牛沼に牛馬の飼育に関する文書が残されていない事、牛沼に牛馬の飼育に関する文書が残されていない事など、動物の牛と直接関係がないとされています。国語学者にとって、牛の付く地名の由来は大変やっかいなものなのですが、それだけ断定した由来が分かり難いでしょう。それは二つの語意があるからです。(続く)

幼な子の汗のこめかみ風が拭く (かはる)  
 涼しさのまんまるの子の笑顔かな (るり子)  
 夜子するオリレビックを眼の端に (勝代)  
 かなかなの速く近くに朝早し (静子)  
 もがれずに茶薄き秋茄子 (照代)  
 子の神輿傾き路地を曲りけり (香治)  
 目の高さ越えて怒涛や海野分 (つや)



滝山街道 (秋留橋南)  
 草花 木崎秀治

## 歴史探訪

第74回